

令和5年度 図画工作科 授業改善推進プラン

大田区立入新井第一小学校

1 昨年度の授業改善推進プランの検証

(1) 昨年度の課題について

- ・感染対策を意識しながらの活動であったため、共同で行う制作活動があまりできなかった。そのため小集団で行う活動をあまり経験させることができなかったことが課題である。

(2) 今年度の課題について

- ・自分で考えながら表現を工夫したり根気よく作品を作ることを苦手としている児童や、見通しをもって授業時間内に完成できない児童がいることが課題である。

2 授業改善のポイント（観点別）

(1) 低学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・身近で扱いやすい用具や材料に十分に慣れさせるようにするとともに、道具の正しい使い方を教え基礎基本を定着させる。	・自分らしい発想を引き出すことができるよう教師見本や表現・材料のパターンなどをいくつか提示し考えさせるようにする。	作品制作を通して成功体験や達成感を実感できるように児童への声かけを工夫したり鑑賞の時間を多くとるなどする。

(2) 中学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・自分なりのイメージや思いに合わせて、道具や材料を主体的に選択できるような題材設定や声掛けを行う。	・多様な道具や材料、表現方法を体験させながら、自分らしい構想を考えさせるようにする。 ・児童同士の作品を鑑賞することを通して自分の発想に生かすようにする。	多様な道具や材料、表現方法を授業の中で扱うことを通じて制作する意欲を高められるようにする。

(3) 高学年

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
自分の表したいことに合わせて前学年までに積み重ねた技能や経験を生かしながら表すことができるよう活動に取り組ませる。	・今までの経験を総合的に生かしながら自分らしい構想を深めるようにする。 ・児童同士の作品や作家の作品を鑑賞することを通してそのよさを実感したり、自分の作品に生かしたりする。	・制作する楽しさや喜びを一層深められるように今までの経験を生かしながら自分で考えて作る授業を組めるようにする。

